

# 県連ニュース

2011年7月1日発行  
栃木県勤労者山岳連盟

- 東日本大震災支援ボランティア活動・・・1
- 「東日本大震災支援ボランティア隊」第一陣～第三陣の内訳・・・2
- 県連東日本大震災被災地支援ボランティア活動第4陣の実施について・・・3

## お詫び

今回の震災への対応及び原稿不足等で3～6月号が発行できませんでした。申し訳ございませんでした。

## 東日本大震災支援ボランティア活動

2011年3月26日の県連総会にて、東日本大震災の被災者を支援するボランティア活動の実施が決められました。

東日本大震災発生後、県連救助隊の森隊長がいち早く被災地へ赴き、気仙沼市唐桑地区にベースキャンプを確保するとともに、RQというボランティアNPOの協力も仰ぎ、現地被災住民とのコンタクトがとれる様になりました。

また、我々栃木労山には、どんな環境でも自立した生活ができる装備とノウハウを持つ山岳クラブならではの特徴と、機動力（4トクレーン車、2トダンプ）や装備（発電機、プロパンガス等）・工具類（チェーンソー、一輪車、バール等）を自前で準備でき、それらを使いこなせる多彩な人材が参加してくれたこと等の幸運もありました。

此の様な幸運に恵まれた我が県連の「東日本大震災の被災者を支援するボランティア活動」は、会員の強力な後押しもあり、派遣計画への参加者募集、救援物資及び活動支援物資の提供、支援募金活動などが順調に進み、スムーズな被災地支援活動につなげることが出来ました。

その結果、2011.4.2（土）～5.5（木）の約1ヶ月間に気仙沼市唐桑地区へ、参加者数約100名、延べ410人日規模の第一陣～第三陣の「被災者支援するボランティア活動隊」を派遣すると共に、皆様から提供された救援物資を気仙沼市唐桑地区へ届けることができました。

栃木県勤労者山岳連盟 発行責任者：増田俊雄 編集責任者：橋田弘一

321-0345 宇都宮市大谷町1109

<http://www.geocities.jp/tochigirosan/>

## 「東日本大震災支援ボランティア隊」第一陣～第三陣の内訳

◆第一陣 2011年4月2日(土)～4月10日(日)		計 29人(延べ 151人)
クラブマウントアン サンプル	・先行班(8泊9日以上):2名 ・①2泊3日班:1名 ・②8泊9日班:1名	4人(延べ36人)
宇都宮HC	・①2泊3日班:2名 ・②8泊9日班:4名	6人(延べ48人)
野木山想会	・①2泊3日班:9名	9人(延べ27人)
宇都宮山の会	・①2泊3日班:5名	5人(延べ15人)
マロニエ HC	・②8泊9日班:1名	1人(延べ9人)
上三川 HC	・①2泊3日班:2名	2人(延べ6人)
悠々HC	・4泊5日班:2名	2人(延べ10人)

◆第二陣 2011年4月9日(土)～4月11日(月)		計 35人(延べ 101人)
クラブマウントアン サンプル	・2泊2日班:1名	1人(延べ2人)
宇都宮HC	・2泊2日班:2名 ・③2泊3日班:7名	9人(延べ27人)
野木山想会	・①2泊3日班:16名	16人(延べ48人)
山人クラブ	・①2泊3日班:2名	2人(延べ6人)
マロニエ HC	・②8泊9日班:1名	1人(延べ3人)
栃木岳人	・①2泊3日班:1名	1人(延べ3人)
悠々HC	・2泊3日班:2名 ・1泊2日班:3名	5人(延べ12人)

◆第三陣 2011年4月29日(金)～5月5日(木)		計 34人(延べ 158人)
クラブマウントアン サンプル	・先行班:1名 ・3泊4日班:1名 ・2泊3日班:1名	3人(延べ16人)
宇都宮HC	・6泊7日班:2名 ・4泊5日班:5名 ・2泊3日班:2名	9人(延べ44人)
野木山想会	・6泊7日班:1名 ・4泊5日班:6名 ・2泊3日班:5名	12人(延べ52人)
宇都宮山の会	・4泊5日班:3名 ・2泊3日班:2名	5人(延べ21人)
マロニエ HC	・4泊5日班:2名	2人(延べ10人)
栃木岳人	・4泊5日班:1名	1人(延べ5人)
悠々HC	・4泊5日班:2名	2人(延べ10人)

＜東関東大震災救援物資の内訳＞

物資品名	数量	物資品名	数量
タオル	2,667 枚	歯ブラシ	147 本
靴下	421 足	下着・衣類	136 枚
傘	175 本	軍手・ゴム手袋	234 双
ガムテープ	137 個	寝具	30 枚
梱包用ヒモ	79 個	小学生上履き	96 足
ノート	175 冊	鉛筆	903 本
ボールペン、シャープペン	172 本	マスク	530 枚
(協力会) クラブマウントアンサンブル・宇都宮 HC・野木山想会・マロニエ HC・遊遊 HC・宇都宮山の会・上三川 HC・山人クラブ・栃木岳人倶楽部			

## 県連東日本大震災被災地支援ボランティア活動第4陣の実施について

県連東日本大震災被災地支援ボランティア活動について、第3陣（4/29～5/5）以降は、資金面の制約から各会及び個人負担での活動になり、事実上活動は中断状態になっていましたが、その後、会員の皆様からの募金、労山全国連及び日本財団からの補助金決定などにより、資金面での見通しも好転し、潤沢ではありませんが、一定の活動補助金支給の目途が立ちました。

これを受け、第2回県連理事会（6月6日）にて、今後の被災地支援ボランティア活動方針及び当面の実施計画を以下の通り、決定しました。

### 記

1. 唐桑半島ベースキャンプの維持管理を今後も支援する。  
(但し、6月～8月中旬は森隊長不在の為活動休止)
2. 今後の被災地支援ボランティア活動を行う会員への活動補助金を支給する。  
◆一人当たり活動補助金を日数に応じて支給（1,000円/日）する。  
注1）支給対象は、県連主催の活動及び県連が認めた活動。  
なお、県連主催以外の活動への参加者は報告書提出要
3. 毎月第1週、第3週の土日を中心に参加者を募る。
4. 当面の実施計画  
＜7月の活動計画（第4陣）＞  
◆活動場所：石巻市水沼（ヘドロの掻き出しが中心）  
◆活動計画：①班7/1（金）夜出発～7/3（日）夜帰宅  
②班7/15（金）夜出発～7/17（日）夜帰宅